

○関東140号

1. 来歴

- 1) 系統名 関東140号 (旧系統名：作系33)
- 2) 交配組合せ 作系16 (母) × タマオトメ (父)
- 3) 用途 蒸切干加工など

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性は良。いもの皮色は淡赤紫、肉色は淡黄である。いもの形状は紡錘～短紡錘形、大小はやや大で、形状の揃いはやや整、大小の揃いは中である。条溝は無、皮脈は無、裂開は無で、外觀はやや上である。上いも収量は無マルチで「タマユタカ」より多く、マルチでは「タマユタカ」よりやや多い。蒸切干の肉色は淡黄で、肉質は粘である。蒸切干の食味は上で「タマユタカ」より優れ、「泉13号」並みである。シロタ (中白) の発生は無である。病虫害抵抗性は、ネコブセンチュウにやや強、立枯病にやや弱、つる割れ病にやや強、黒斑病に強である。本系統は、収量が多く、蒸切干が淡黄色で食味が優れ、蒸切干のシロタの発生が無く、多収性を備えた高品質蒸切干加工用として有望である。

2) 育成における栽培試験成績 (平成24年度)

① 無マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも率 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸切干				
							外観	皮色	形状	中白	肉色	肉質	繊維	食味
関東140号	397	127	96	223	3.8	32.7	やや上	淡赤紫	紡～短紡	無	淡黄	粘	やや少	上
標) タマユタカ	313	100	99	268	2.5	31.9	中	帯紅/淡黄白	紡～短紡	少	灰白	やや粘	中	やや上
比) 泉13号	150	48	94	149	2.3	37.4	やや下	淡黄白	紡	無	淡黄	中	中	上

② マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも率 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸切干				
							外観	皮色	形状	中白	肉色	肉質	繊維	食味
関東140号	458	107	96	264	4.5	31.9	中	淡赤紫	紡	無	淡黄	やや粘	中～や少	やや上
標) タマユタカ	430	100	99	346	3.1	33.9	中	帯紅/淡黄白	紡～短紡	やや少	灰白黄～灰白	中	中～や多	中
比) 泉13号	146	34	95	181	2.2	36.2	中	淡黄白	紡	無	淡黄	中～や粘	中	や上～上

③ 病虫害抵抗性

品種・系統名	育 成 地					特性検定試験	
	ネコブセンチュウ 場内 (谷和原)	現地 (香取)	立枯病 (香取)	つる割れ病	黒斑病	立枯病 (徳島)	黒斑病 (長崎)
関東140号	やや強	やや強	やや弱	やや強	強	中	強
タマユタカ	中	中	やや弱	やや強	強	—	強
泉13号	中	やや強	やや弱	やや弱	やや強	—	—